

学校だより 垂水中央中 PRIDE

校訓「創造」「感動」「鍛錬」

平成29年度第9号
(12月21日発行)



2学期を終えるにあたって

今年は、例年よりも早く冬が訪れたと感じています。でも、寒さのお陰で、ふるさと垂水の紅葉の美しさを知ることでもできました。さて、4か月という長い2学期も終わろうとしています。生徒は、体育大会や文化祭等の行事や生徒会活動、日々の授業にしっかりと取り組む中で、確実に成長しています。この2学期の学校生活アンケートで、保護者の皆様からいただいたご意見等を少し紹介いたします。

★1学期は少し元気がなく、心配な様子も見受けられましたが、2学期では元気を取り戻し、期待と希望に満ちあふれています。★担任の先生も部活動の顧問の先生も、子どもたちを熱心に指導してくださっています。親よりも先生方に心を開いているようで、とても安心感があります。先日の文化祭、学校全体が一生懸命取り組んでいる様子が伝わりました。★学校はいつも整っていて、生徒たちのあいさつもととても気持ちがいいです。これからもご指導よろしくお願い致します。★毎日楽しい学校生活を送らせていただき、ありがとうございます。先生方からの温かい声かけがとても励みになっているようです。

保護者の皆様には、さまざまな場面で、生徒への温かい声かけや励ましをいただきました。心から感謝を申し上げます。年末・年始は、1年の大事な節目であるという気持ちになります。生徒にも家族の一員としての役割を与えるとともに、新たな決意や目標を持って3学期を迎えられるようよろしくお願い致します。新しい年が皆様にとりまして、幸多きものとなりますよう心からお祈り申し上げます。

校長 明石 浩久

挑戦する心 あきらめない心

12月9日(土)、垂水市中央運動公園で校内長距離走大会を実施し、男子4km、女子3kmのコースを生徒が駆け抜けました。気の重たかった生徒も多かったと思いますが、果敢に挑戦してくれました。これから先の人生には、きつくても、辛くても踏ん張らなければならない場面が必ずやってきます。これまで培ってきた「挑戦する心」を今後に生かしてくれるよう期待します。



支えていただいています

12月12日に学校応援団の皆様が2年生の家庭科の授業に入り、また、18日には花の苗の植え替えを手伝っていただきました。地域の皆様が生徒の様子を見ていただく機会となっています。



入賞おめでとう

- ☆ 第19回南九州市かわなべ青の俳句大会
 - 入選 2年 深見 希華 2年 安樂 千夏
 - 2年 塩満 和香
- ☆ 第2回南さつま「いろは」まごころ短歌大会
 - 特選 2年 村山 翔一
- ☆ 第45回海の子作品コンクール習字の部
 - 入選 1年 川畑 菜央
- ☆ 第65回鹿児島県理科研究記録展
 - 入選 1年 池田 彩夢 2年 川畑 岳生
- ☆ 第20回南九州選抜中学校ソフトテニス大会
 - 男子団体 2位 ○ 女子団体 優勝
- ☆ 平成29年度肝属地区中学校軟式野球1年生大会
 - 2位
- ☆ 第44回鹿児島県吹奏楽アンサンブルコンテスト
 - 銀賞 木管ミックス七重奏
- ☆ 第100回志布志市水泳記録会
 - 男子 50mバ ッライ 1位 2年 岩切 斗吾
 - 男子 100mバ ッライ 1位 2年 岩切 斗吾
 - 男子 50m自由形 1位 1年 大石 拓真
 - 男子 100m自由形 1位 1年 大石 拓真
 - 男子 100m背泳ぎ 1位 1年 大石 拓真
- ☆ B&G財団会長杯争奪肝属地区中学校卓球大会
 - 男子個人 3位 2年 篠原 康希

大野地区でふるさとを学ぶ

12月14日(木)に、2年生の「ふるさと垂水」が大野ESD自然学校で行われました。つらさげいも、ミニ門松作り、桜の小枝の鉛筆作りの体験を行いました。ご指導いただいた森人(もりんちゅ)くらの皆様ありがとうございました。



たくさんのお子もでにぎわいました

12月16日(土)、科学の祭典in垂水が行われ、本校からはチリメンを使った「プチモン、ゲットだぜ!」とヒイラギの「葉脈しおり作り」の2ブースを出展しました。挑戦する子どもが途切れることなく、大盛況でした。



《1月の主な行事予定》

日	曜	行 事 予 定
9	火	3学期始業式(給食があります。)
10	水	3年生実力テスト(~11日)
13	土	土曜授業日(火災避難訓練)
17	水	1・2年鹿児島学習定着度調査(~18日)
19	金	3年生私立高校入試事前指導 2年生立志の作文発表(各学級)

※ 家庭学習の見届けをお願いいたします。

+ONE の出来事

2年生の家庭科の授業に入ってくくださった学校応援団の方々。3時間連続の授業終了後、校長室での会話。「楽しかったね。あつという間だった。」「素直で、かわいかった。」「自分の意見をしっかりと言えるのね。このまま伸びてほしいね。」ありがとうございました。下校時、正門で「さようなら。」のあいさつを交わしていると、1年生の女子が近付いてきて、「校長先生は、国語の先生ですか。」「よく分かったね。数学や社会とよく聞かれるけど。」「言葉を聞いていると、詩を作る人みたいと思って。」ハードルが上がりました。